



深田久弥

山の文化館だより

令和3年
冬号

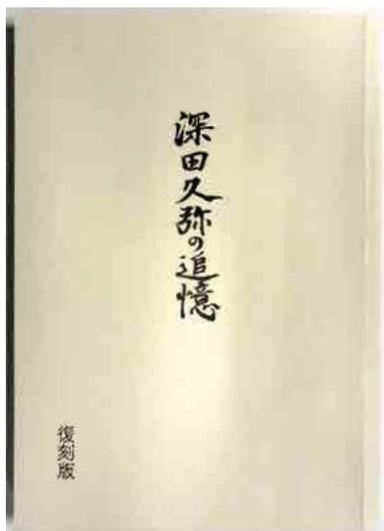
深田久弥 山の文化館
〒921-0067
石川県加賀市大聖寺春場町十八
TEL 〇七六(一)七二一三三三一
FAX 〇七六(一)七二一三三一

深田久弥没後五十年

深田久弥が、昭和四十六年三月二十一日山梨県の茅ヶ岳山中で脳卒中のため倒れ、亡くなってから五十年になる。

山で倒れた時、一行の中の山村正光さんが急を知らせに葎崎まで駆け下った。そして警察や白鳳山岳会からなる救助隊が救助に向かった。実際には遺体の収容であったが。白鳳山岳会の若手で体格のよい望月一博さんが、背負子に乗せられた久弥さんを担いで山を下った。その苦労話については望月さんが書かれた「深田久弥先生との最初にして最後の出会い」に詳しい。

訃報はラジオのニュースで放送された。第一高等学校の同級生鈴木竹雄さんは「三月二十一日の夕方、私は珍しく机



復刻版

上のラジオをひねってニュースを聞いた。そして思いもかけず、君が山で亡くなったことを知った。」と『深田久弥の追憶』の中に書いている。しかし、新聞報道は翌日の夕刊だった。彼岸の中日の翌日で、朝刊は休刊だったからである。翌朝には多くの新聞で訃報が伝えられた。

『岳人』はその年の五月号に「深田久弥 山に逝く」と題する特集を組んだ。その後、日本山岳会機関紙「山」、『アルプ』、『岩と雪』、『山岳』などに続々と追悼文が掲載された。

『深田久弥の追憶』の中で望月達夫さんが「深田さんが亡くなってから五ヶ月近くになるが、その間全国いたるところの友人、後輩たちによって綴られた追悼の文字は相当の分量になるであろう」と語られるように、多くの方々はその死を悼んだ。昭和四十六年秋には、深田久弥追悼委員会によって『深田久弥の追憶』と題する追悼文集が作られている。現在は復刻版を販売中である。

(注) 日本山岳会では、深田久弥図書委員長発案で、会員自慢の本の展示会が毎年行われていた。久弥が亡くなった年には久弥の著作などを集めて開催された。

この一冊

『アルプ』

一枚の絵ハガキが出てきた。挟まれていたのは雑誌『アルプ』第二百二十二号である。そのハガキのあて名は南 秋草子様とある。ホトトギス、あらうみの同人で、深田久弥とは俳句を通じて親交のあった俳人である。ハガキは、深田志げ子さんから南さんに宛てたもので、内容は南さんからの便りに対する返事であった。

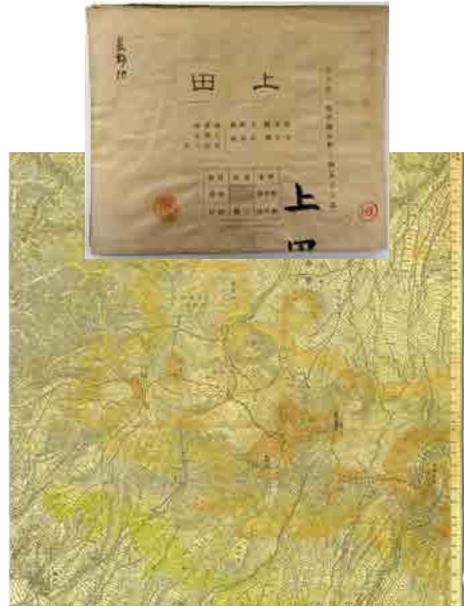
この号には志げ子さんの書かれた「飯豊山旅のこぼれ話」が載っており、文中の間違い、誤植を伝えたことへの返事であった。他にも、志げ子さんご自身のケガのことや、南さんの奥さんのことなどが書かれており、親しく文通されていた様子が窺われる。

誤植などは南さんの手で修正されていた。この『アルプ』は南さんから頂いたもののようにである。



久弥と五万分の一地形図と赤鉛筆と

その12



「湯ノ丸山へ行くのだけれど、久弥さんの使っていた地図はあるだろうか」とOさんから尋ねられ、湯ノ丸辺りの五万分の一はどうかと調べ始めた。地勢図「長野」の「上田」であった。書き込みのある地形図の表を見ると、「上田」には赤いラインや等高線に沿って着色があると書かれており相当期待が持てる。出して見ると期待以上のものである。湯ノ丸山から籠ノ登山、黒斑山まで広い範囲が着色されている。千メートル付近は黄緑色、千五百から千九百はオレンジ色、二千メートル以上は茶色に色分けされている。また、新張（みはり）から地藏峠、鹿沢（かざわ）温泉までのルートに赤鉛筆のラインがある。この地形図に関する作品は「鹿沢の山山」と「鹿沢だより」の二つがあった。これらの作品から、久弥は第一高等学校時代から何度も鹿沢

に出かけ、このあたりの山々で山スキーを楽しんでいたことが分かる。また、新張から鹿沢までの道中には、一町ごとに地藏が置かれて道しるべとなっていた。当時の地図には、四十番茶屋、五十番茶屋の記載がある。現在の地図にも記念碑のマークがいくつもある。

「鹿沢の山山」＝『わが山山』に収録
「鹿沢だより」＝『山岳展望』に収録

『山岳』
第一年 第一号から



日本山岳会会員で、「日本百名山」の編集者である大森久雄氏より、『山岳』（日本山岳会年報）をご寄贈頂きました。第一年から第八十八年までです。また、「山」（日本山岳会会報）も二百七号から六百五十二号まで五百六十九部を頂きました。これらは、日本の山岳界における貴重な歴史的資料です。多くの皆様方に調査研究のため利用して頂き、本当の意味で、これらが有効利用されることを願っています。

● 間こう会予定

新型コロナウイルスの流行の中で、間こう会はリモートで二会場形式にして実施しています。
(聴講無料)
午後一時半より三時
深田久弥山の文化館聴山房他

1月17日(日)
演題：いしかわ動物園におけるライチョウ飼育繁殖の取り組みについて
講師：堂前 弘志氏

2月21日(日)
演題：『白山之記』に描かれた白山
講師：山口 一男氏

3月21日(日)
演題：『日本百名山』あれこれ
講師：大庭 保夫氏

● 読書会のお誘い
『日本百名山』など深田久弥の作品を読んで、山やその自然、文化について語りあっています。お気軽にご参加下さい。(参加無料)

- 一月十五日(金) 『日本百名山』より「剣山」
- 二月十九日(金) 『日本百名山』より「金峰山」
- 三月十九日(金) 題材未定

● 場所：深田久弥山の文化館
● 時間：午後一時半より三時

* 詳細はホームページをご覧ください

● 編集後記

イチヨウの黄金の絨毯は、たった一日で風に吹き寄せられてしまい残念でした。今度は、綺麗な冬景色を待ち望んでいます。コロナの終息も待ちたいです。

各種お知らせ詳細はホームページをご覧ください

深田久弥山の文化館ホームページ <http://www2.kagacable.ne.jp/~yamabun>